

公共投資プログラム運営監理強化プロジェクト

Project for Enhancing Capacity in Public Investment Program (PIP) Management (PCAP2)

ハイライト

- PCAP2ホームページ開設のお知らせ
- 3年次全国研修概要
- PIP法国会承認
- PCAPの新JICA担当者のご紹介

第3年次活動スタート ～応用力の醸成～

PCAP2開始からはや2年半、第3年次の活動がはじまりました。今年度も全国研修、Public Investment法支援、新開発の手法検証、公式マニュアルの発行等、活動が目白押しとなっております。

2009年11月30日より、シエンクワンとフアパンの2県を皮切りに、PCAP2の第2回全国研修シリーズを開始しました。今回のテーマは「Brush-Up & Upgrade」。これまでの取り組みに磨きを掛けつつ、ここ1年半で開発した新しい手法やプロセスを取り入れ、レベルアップした研修を実施します。今年度もさらに研修の開発・準備・実施・評価のプロセス全てをMPI職員が取り仕切れるよう、技術移転を続けています。研修の技術移転は、基礎編から発展して少しばかり応用編の域に入ってきました。

研修の実情でも、「応用力」を要

する場面に遭遇しています。今年は12月にSEA Gamesという国民的なイベントとぶつかったため、研修日程が変則的になりました。本来ならば1月までには全国研修を完了し、各県が来年度PIP予算策定作業に入るとともに実地訓練等のフォローアップ活動を実施したかったのですが、SEA Gamesのため、全国研修の完了が2月中旬までずれこんでしまいます。

また、一部研修費用のMPI側負担に関して、今年度PIP予算として承認されて喜んだのも束の間、いざ支出する段階で、南部台風被害のための緊急災害対策予算を優先させた政府の方針より、PIP予算が全般的に拠出遅れとなり、結果的に当初約束していた全国研修でのMPI負担ができないことになりました。

いかに綿密に計画を立てたとしても、何らかの要素が作用して当初

計画通りにいかないのは世の常です。ラオスのPIP運営監理において、そういった事態を早く察知して、対応する能力を養成するのもPCAP2の大事な技術移転であると考えています。

SEA Gamesの対応は、何度か変更を重ねながら、適切な全体研修日程を作り上げました。MPI側研修費用に関しても、MPIが省庁を上げてリカバリーに取り組むとともに、最終的にPIP予算でOJTの費用をほぼ全額負担する方向でPCAP2と合意しています。

こういった計画変更をはじめとした様々な「応用編」に対し、解決に向けて真摯に取り組むMPI側のリーダーシップと、各職員の変わらぬ高い基本姿勢に敬意を表します。

**PCAP2 チーフアドバイザー
奥村一郎**

PCAP2 ホームページ開設

PCAP2では、JICA技術協力プロジェクトサイトにて、ホームページを開設しました。サイトは日本語、ラオス語、英語版があり、これまでPCAP2で発行した報告書や各種マニュアル、ニュースレター等がすべてご覧いただけます。また、フェーズ1サイトへのリンクもありますので、PCAP2と併せて、PCAP1のサイトものぞいてみてください。現在プロジェクトでは、ホームページに関して、皆様のご意見・ご感想を募集しております。コメントの送付先は、4ページ目をご覧ください。

ホームページアドレス : <http://www.jica.go.jp/project/laos/0700667/laos/index.html>

PCAP2 全国研修第2段の幕開け

●PCAP2の研修デザイン● —3段階の研修プログラム—

PCAP2 Three Steps-Training

PCAP2では、3年半のプロジェクト期間中に3回の全国研修を実施する予定です。PCAP2では、3回の研修でそれぞれ大きな目標（テーマ）を設定し、1段、1段、ステップアップしていく研修デザインとなっています（左図参照）。研修第1弾であった昨年は、「面的広がり」をテーマとして、PCAP1で開発された公共投資プログラム（PIP）の基礎的なマネジメント手法を全16県/ビエンチャン都・全省庁に導入し、成功を収めました。全国研修第2弾にあたる今年は、「内容の充実」をテーマに、PCAP2で新しく開発されたマネジメント手

	1 st Year 2008/3 ~2008/8	2 nd Year 2008/10~ 2009/8	3 rd Year 2009/10~ 2010/8	4 th Year 2010/10~ 2011/8
Training Theme		Training part I Coverage	Training Part II Brush-up & Upgrade	Training Part III Upgrade Quality
Training Tools		Existing Handbooks & Manuals	Financial/ ODA/District PIP Management	Upgrade Quality
Final Outputs		PIP annual budget compilation utilizing existing tools	PIP annual budget compilation utilizing new tools	PIP annual budget compilation in good quality utilizing upgraded new tools

法の導入と、既存のマネジメント手法のブラッシュアップを行います。さらにPCAP2最後の研修となる来年度の研修第3弾では、「質の向上」をテーマに、新しく導入された手法の質の改善を目指します。

●PCAP2の全国研修第2弾●

2009年11月、「内容の充実」をテーマに掲げ、全国研修第2弾が幕を開けました。研修は大きく、「PIPマネジメント研修」と、「財務マネジメント研修」の2本立てで行われています（下図参照）。

i) PIP Management Training		ii) PIP Financial/Budget Training	
Objective	<ul style="list-style-type: none"> Brushing up the existing methods Introducing new methods for requesting and assessing projects 	Objective	<ul style="list-style-type: none"> Introduction of methods for PIP annual budget compilation and financial analysis
Main Contents	<ul style="list-style-type: none"> [Brush-up]: Methods of requesting and assessing ongoing projects [Brush-up]: Sector program management [New]: District PIP management [New]: ODA national contribution budget management [New]: Introduction of new video program 	Main Contents	<ul style="list-style-type: none"> Methods of budget compilation Methods of financial analysis
Trainers	<ul style="list-style-type: none"> MPI-DOE personnel MPI-DIC personnel 	Trainers	<ul style="list-style-type: none"> MPI-DOP Personnel
Main Trainees	<ul style="list-style-type: none"> Officials of planning departments Project owners in all provinces and central ministries and organizations 	Main Trainees	<ul style="list-style-type: none"> Officials of planning departments in all provinces

「PIPマネジメント研修」では、MPI評価局・計画局・国際協力局職員が講師となって、全16県/ビエンチャン都・全省庁のPIP策定を担っている計画局の職員、PIP事業の事業主であるセクター一部局職員を対象に研修を行っています。2009年11月~2010年2月にかけて、全16県/ビエンチャン都を巡業する大掛かりな研修ツアーです。1県/ビエンチャン都・省庁あたり5日間の研修プログラムで、下記の6つの手法の知識・技術の習得を目指しています。

- 継続PIP事業の予算申請の手順・手法
- 継続PIP事業の審査のポイントと審査方法
- 郡におけるPIP事業の申請ルートとその手順
- セクタープログラムマネジメント手法
- ODAラオス負担予算の申請手順・手法
- PIP事業相対評価手順・手法

他方、「財務マネジメント研修」では「慢性的な予算不足の中、きちんと財務状況を把握した上でPIP事業の予算策定を行う」という基本的な考え方のもと、MPI計画局職員が講師となり、全16県/ビエンチャン都・全省庁の計画局職員を対象に財務分析手法についての研修を行っています。

現在、「PIPマネジメント研修」、「財務マネジメント研修」共に中盤にさしかかっていますが、これまで参加者からは、「全国のPIPに関わる部局が同じツールを用いることが大切だ」、「これまでは無かったODAラオス負担予算の申請手順・手法が新しく導入されて嬉しい」、「財務分析結果を計画局とセクター局が共有することが非常に大切だと気付いた」、などと導入されたマネジメント手法に対して意見が寄せられています。次号では、研修結果についてみなさんにお知らせしたいと思います。乞うご期待を！（文責：平良）

公共投資法が国会承認されました！

MPIとPCAP2の念願であった公共投資法（Law on Public Investment）が2009年11月の通常国会で、承認されました。特に、MPIとしては2006年3月の第8回全国代表者大会の場で指示された、PIP新法の策定を実現したことになり、喜びもひとしおです。

新法は、昨年（2008年）12月国会で一度却下された後、関連省庁と協議を重ね、さらには国会議員ともワークショップ等で意見を徴収して修正作業を行い、万全を期して提出、今般の承認を受けました。

新法は、これまでPIPの法的根拠であった首相令58号（2002年5月）に代って法律として格上げされたもので、PIPの運営監理について、その定義、組織分掌、プロセス等を全般的に規定しています。これまで首相令にはなかった工事業者選定に関する項目や、法順守にかかる賞罰規程等が新たに追加され、MPI等重要組織の役割が修正されています。

今後、微修正された後60日以内に国会議長のサインを経て、大統領令のもとで正式発効となります。そ



プーコン氏からのPIP法に関するプレゼンテーション

の後詳細規程を盛り込んだ実施令（Implementation Decree）が首相の名で作成されます。PCAP2では、法に引き続き実施令策定のための技術支援を行い、PIPに携わる職員がスムーズに運営監理できる仕組みを、MPIとともに作り上げていきます。（奥村）

JICAラオス事務所PCAP2プロジェクト新担当のご紹介

長年PCAPプロジェクトを担当されていた松元所員が帰国され、新たに吉村由紀さんが赴任されました。

はじめましてJICAラオス事務所の吉村由紀（よしむらゆき）と申します。10月16日に松元の後任として着任いたしました。PCAP2を担当させていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

早速11月下旬から12月にかけてプロジェクトの中間レビュー調査を実施し、この機会に11月から始まった全国研修の第一弾、シェンクワン県で

の研修に同行しました。研修では、MPI職員の講師を中心とした組み立てを目の当たりにし、MPI講師陣の実力の蓄積を見ることができ、またシェンクワンDPIのコミットメントも高く、今後の着実な展開が期待されました。一方で、DPIの紹介のもと、二つのPIPプロジェクトの現場（双方とも事務所建設）を視察しましたが、承認されたPIPプロジェクトにもかかわらず、予算執行にあたっては債務化する懸念があることも確認され、まだまだPIPマネジメント改善の余地があることも実感いたしました。着任早々プロジェクト活動に同行させていただき、成果の発現と今後の課題が見えたことは、非常によい勉強の機会を得たと感謝しております。

折り返し地点を迎えたPCAP2、プロジェクト後半もますますチャレンジングな活動が目白押しですが、カウンターパートと専門家の方々がよりよい成果を出せるよう、ラオス事務所からもしっかりとサポートしていきたいと思っております！



プロジェクトスタッフ紹介

今回は、ローカルコンサルタントとして、プロジェクトを支えている2名をご紹介します。



私はサマン・ブンミーです。PCAPフェーズ1(2004年末)からプロジェクトに参加してきました。今は、公共事業評価やマネージメントに関する仕事を担当しています。ラオスの公共投資プログラムが、計画段階から実施まで効率よく事業の監理・促進をできるような活動を支援しております。この活動は国の経済社会を発展させる上で、重要な一つの要素だと私は考えております。

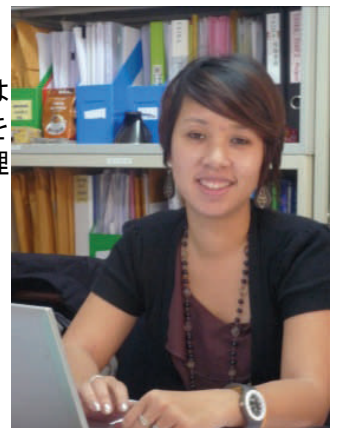
プロジェクトの活動を通し、日本人専門家や計画投資省の評価局・計画局・国際協力局の職員から、色々勉強する機会をいただき感謝しております。それぞれの仕事を通じて得た知識や経験は、私個人に対してのメリットだけではなく、私の家族にとっても、よい効果をもたらしていると思います。

時間のある時はフットサルをしています。時々カラオケもしますが、「そんなに悪くないなー」と思っています。

今後ともプロジェクトが続く限り、みなさんと共に働きたいと思っています。

皆さんはじめまして！

私はムティタ・ボンペットラットと申します。フランスから参りました。現在はPCAP2の中でローカルコンサルタントとして、研修管理と開発指導に関する仕事をしております。ラオスに帰省し、PCAP2の活動に参加し公共投資プログラムの監理制度を強化するためにお手伝いできて非常に嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



上：サマン・ブンミーさん（公共事業評価担当）

下：ムティタ・ボンペットラットさん（研修開発・メタ評価担当）

プロジェクトカレンダー

2009年10月～12月活動概要

- 10月：3年次開始
- 11月：中間評価、全国研修実施（北東部）
- 12月：PIP法案制定、全国研修実施（中部）

2010年1月～3月予定

- 1月：財務・全国研修実施（北西部、南部）
- 2月：中央省庁対象研修実施、OJT研修実施
- 3月：JCC開催

【編集後記】

早いもので、待ち望んでいたSEA GAMESもあっという間に閉会し、PCAP2もいよいよ正念場の3年次を迎えました。期間中は、サッカー観戦にかけるラオス人カウンターパートやスタッフの情熱と団結力に驚きましたが、3年次のゴールをびしっときめるためにも、同じ情熱を持って一緒にプロジェクトを盛り上げていきたいと思えます。次号は、全国研修の報告をメインにお伝えする予定です。ご期待ください！（中村）

プロジェクトでは、皆様のご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。

お問い合わせ・送付先：

- プロジェクトオフィス：Ministry of Planning and Investment, Souphanouvong Avenue, Vientiane
- 郵送先：C/O JICA Laos Office, Souphanouvong Avenue, Vientiane
- 電話・ファックス：+856(0)21.243.687
- Eメール：jica.pcap2@gmail.com
- ホームページ：http://www.jica.go.jp/project/laos/0700667/laos/index.html